

特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2011年度 第31回理事会 議事録

- 1 日時 2011年11月14日(月) 10時00分～12時40分
- 2 会場 こうち男女共同参画センター プライベート室
- 3 理事総数および出席者数
理事総数 13名 出席者数 13名
出席理事 石川妙子、上野伊佐子、内田洋子、兼松憲一、兼松方彦、坂本彰、谷川徹、
滝石典子、橋本正博、松本和子、宮地亀好、谷地森秀二、山本稔
出席幹事 濱松英彦
事務局 上田史、近藤純次、塚崎由子
- 4 議長 議長 _____ 印
- 5 議事録署名人 議事録署名人 _____ 印 ・ _____ 印
- 6 議事録作成人 事務局 塚崎

議長は定款に基づき理事長が就いた。議事録署名人は石川理事、上野理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

7 報告事項（特に表記の無い項目については事務局長が報告）

①2011年度事業計画および10月事業経過（資料1-1）

〔意見〕・時間に限りがあるため、報告事項に関しては、特に検討・確認すべきことのみとしてはどうか。そのためにも理事会開催前に資料を配布しておく必要があるだろう。

→理事会での事業経過確認は重要と考えるが、10月については資料での確認をお願いする。

②委託業務内容確認（資料1-2）

- 特に達成率が低い業務内容

団体間交流、エコクラブ交流会：0% いずれも「えこらぼの文化祭」で達成できる見込み。

〔確認事項〕

- カウント漏れが無いか再度見直す。リストに予測数値を入れると見通しやすいかと思われる。
- 目標達成を目指し、来年度の目標設定も視野に入れ、各部会において意識して活動に取り組む。

③収支報告（資料1-3）

H23年度予測（支出実施予想額については、HPリニューアル作業料等を見込んだ金額）

収入 予算額：26,340,000円 実施予想額：27,896,168円 予実比：105.9%

支出 予算額：30,240,000円 実施予想額：31,279,709円 予実比：103.4%

収支 予算額：▲3,900,000円 実施予想額：▲3,383,541円 予実比：86.8%

④各部会からの報告

○環境活動支援センターえこらぼ部会（谷地森部会長）

11月11日（金）部会を開催。特記事項はなし。

○地球温暖化防止センター部会（松本部会長 資料1-4）

11月11（金）に部会を開催。

- 温暖化防止フォーラムについては、太陽光発電に関する内容で実施を検討。講師の内諾を得た。
- 部会の取り組みについては、委託事業をこなすだけでなく、自主的な活動につなげたいと考えている。まだ議論の途中であるが、豊かな環境づくり補助金を活用した事業も考えていきたい。

⑤会員数の報告（資料1-5）

10月24日に谷岡仁氏（個人・正会員）が入会。正会員数67名、活動会員16名、合計83名。

⑥平成23年度高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金交付申請について（資料1-6）

高知県地球温暖化防止県民会議幹事会の承認を得て、2件を申請中。審査会は11月21日。

- 一般家庭へのエコドライブ普及啓発事業

概要：エコドライブ技術の習得と原理の理解を得られる機会を県民に提供する。

- 電気自動車用充電インフラ整備に関する県民ニーズの把握と課題の検討

概要：充電ポイントの最適配置等を県民の意見を交えて検討し、積極的対応を関連企業にも促す。

⑦平成 24 年度地球環境基金助成金説明会（四国・高知）について（別紙）

- 11 月 28 日（月）13：00～ 環境再生保全機構の担当者による助成金説明会を開催する。

⑧高知自然学校連絡会について（資料 1-8）

- 幹事として参加する。11 月 26 日の自然体験活動に参加するため、事務局内で調整中。

⑨えこらぼの文化祭会場 アトリウムについて（資料 1-9）

- ソーレがイラスト展示のため、1 月 12 日～31 日確保していた。事務局の不手際をお詫びする。
- 実行委員会で報告・協議し、実行計画書を作成したうえで再度ソーレ事務局に使用交渉を行う。

8 方針説明

①環境の杜こうちの組織と人事に関する基本方針と中期経営計画のすすめ方（兼松理事長 資料 2-1）

組織基本方針案と、担当理事が年間の事業計画・管理等を行うことを提案し、意見を求めた。

〔主な意見〕

- 新たな組織案については異論なし。県の努力と期待を裏切らない姿勢が重要。
- 実現のためには、専任の役員もしくは会員が必要と思うが、担える人がいるかどうか課題。
- 理事会内で議論するのではなく、組織設計のために、別の形態の作業部会が必要。

【確認事項】

各組織の役割を再度整理し、次回の臨時理事会で示す。その後、担当理事や規程の最終議論に入る。

②生物多様性「にじゅうまるプロジェクト」の参加申請に関する協議（別紙資料）

資料は参加の判断材料としてまとめた。参加した場合、生物多様性に関する動向や情報が得られ、今後の展開が期待されること、当面の課題としてはすぐに収入につながらないことなどを説明した。

【決定事項】

まずは事業を登録する形態で参加申請する。登録事業の具体的内容については、担当者と協議する。

③平成 24 年度予算の方向性について

- 環境活動支援センター、県民部会の人役：現状 1.8→最大 3.0 の見込み。
- 県の委託部署が、新エネルギー推進課から教育関連課へ変更となる可能性あり。
- 環境省の温暖化対策事業：震災対策や新エネルギーへと予算が流れている。良くて今年度並みか。
- 今年度決算の見通し：赤字額の半減～収支±0 円。あと 100 万円程度の支出減を目指したい。

④認定 NPO 法人の申請について

制度改正による申請条件について説明し、県から指定が受けられた場合、申請することを確認した。

- 申請手続き等については、これまで税務署の管轄であったが、各都道府県に移りつつある。
- 3 千円以上の寄付者が 100 名以上という認定要件をクリアすることが困難であったが、県条例により対象 NPO として個別に指定されることで、認定要件を満たすことになる。

9 その他

①グリーンウォッシュウォッチャー募集について（内田理事 資料 3-1）

実施団体：特定非営利活動法人環境市民（京都市）

概要：「環境にやさしい」等の広告・表示をしているが、表現の仕方などに疑問が感じられる商品の情報および情報提供者を求める。詳細についてはホームページで確認を。

今後のスケジュールについて確認を行い、議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。

以上